

サマー・ワーク・キャンプ2018の クラウドファンディング活用

今井福司

- * 学校図書館団体SLiiiCスタッフ
- * 白百合女子大学基礎教育センター



目次

1. はじめに
2. SLiiiCとは, SWC2018とは
3. クラウドファンディングへの挑戦
4. クラウドファンディングの振り返り
5. おわりに



1. はじめに

目次

- 本発表の目的

- 学校図書館の分野で行ったクラウドファンディングの事例をPRする。
- クラウドファンディングを行う上で注意すべき点を共有する。

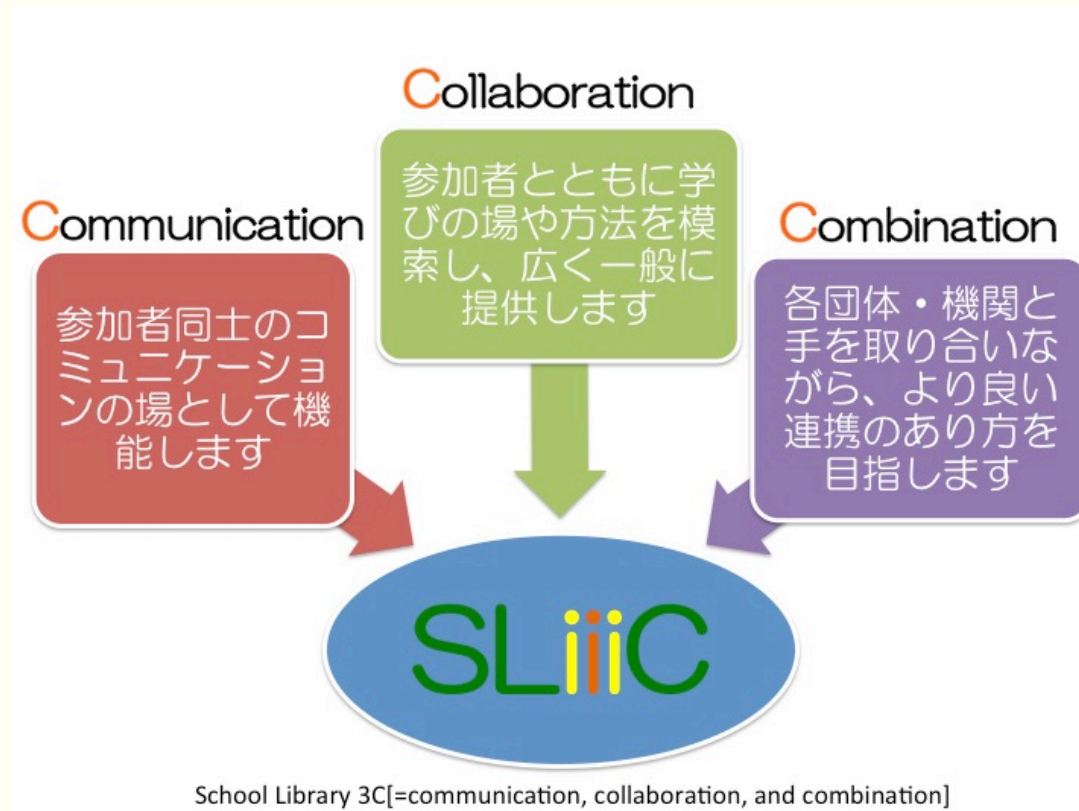
- 本発表の限界

- 「学校図書館」がクラウドファンディングを行った事例ではなく、「学校図書館の支援団体」がクラウドファンディングを行った事例である。



2. SLiicとは, SWC2018とは

SLiicとは



SLiicとは

- 2005年スタート，学校図書館支援を目的とした任意団体として活動。
- “School Libraries Communication Collaboration and Combination”が正式名称。
 - Communication（コミュニケーション）
 - Collaboration（コラボレーション）
 - Combination（コンビネーション）
- 学校図書館支援を目的にWebサイトの構築や研修イベントを行って活動している。

SWC（サマー・ワーク・キャンプ）とは

- SLiiiCが年に一回開催しているイベントがSLiiiCサマー・ワーク・キャンプ。
 - 元々は合宿形式でWebサイトの充実を行うイベントだったが、2013年以降は9月に研修を行うイベントとなってきている。
- 公的な補助金などの補助を受けたことがあったが、スタッフの数が少ないこともあって、近年は手弁当で運営してきた。

SWC（サマー・ワーク・キャンプ）とは

- 2013年以降のサマー・ワーク・キャンプはTwitter実況を行っています。
- Togetterまとめで当日の様子が確認できます。ご覧下さい。

<https://togetter.com/id/sliic>



SWC2018とは

- 2017年夏のスタッフ会議で、「学校図書館にスポットライトを当てたい、劇場という場所で研修をやってみたい」というアイデアが出たことがきっかけ。
 - スポットライトを当てるためには劇場を借りなければいけない。
 - たまたま小劇場を使う劇団（劇団フェリーちゃん）の知り合いがいた。
 - アポイントを取ってみたら、先方は乗り気だった。
 - 打ち合わせたところ、互いに目指しているものが共通であることもあり意気投合した。
 - このイベントのために劇団の本公演をセットで上演して、会場を借りやすくしてくれた。

SWC2018とは

- コラボレーションするにあたって
 - 単にコラボレーションするのではなく、SLiiiCが行う研修イベントとして、きちんと成立させたいという願いもあった。
 - 毎月1回の打ち合わせを行いながら、SLiiiC代表が温めてきた手法「グループ・ブックトーク」を軸に研修を組み立てることが決まった。
- テーマは「パフォーマンス & コミュニケーション”力”の向上」
 - イベントを複数回開催（最終的には4回実施）しながら、きちんと準備しながら作り上げることにした。

SWC2018とは

- 最終的には、以下の2つの内容を展開することが決まった。
 - グループ・ブックトーク
 - グループ・ブックトークという手法を、プレイイベントを通じて洗練させ、サマー・ワーク・キャンプ2018の会場で披露する。
 - グループ・ブックトークを題材とした演劇作品の上演
 - フェリーちゃんとの話し合いを重ねるうちに、新作劇を作ったらどうか、それなら劇場でやろう、というような話になり、プレイイベントを通じて、ブックトークや学校図書館を題材とした演劇作品を制作し、劇場で上演してもらうこととなった。

SWC2018とは

- イベントの様子は以下の記事でまとめられています。
 - <https://www.jcross.com/plaza/report/cat/post-51.html>
 - <https://www.jcross.com/blog/page2236.html>
 - <https://readyfor.jp/projects/sliicswc2018/announcements/78382>
 - <https://readyfor.jp/projects/sliicswc2018/announcements/81916>



3. クラウドファンディングへの挑戦

クラウドファンディングへ挑戦した理由

- 会場である新宿シアター・ミラクルを使用するためには、会場使用料、脚本執筆料や演劇制作の費用が必要となる。
 - 演劇公演を作ることになったので、出演者や照明や音響のスタッフへのギャランティーにも支出があることが分かった。
- もし入場料から全て補填しようとした場合、SLiiiCサマー・ワーク・キャンプで想定していた参加費の範囲を超える額を徴収しなければいけなかった。
 - 外部資金を獲得する必要が生じた。

クラウドファンディングへ挑戦した理由

- SLiiiCは2014年にもサマー・ワーク・キャンプ開催のために、クラウドファンディングへ挑戦している。
 - <https://readyfor.jp/projects/sliiic-swc2014>
 - 交付されるか確定していない助成金を申請するより、クラウドファンディングの方が集まりやすいと考えた。
- 前回の達成金額が30万円だったことから、それ並みの金額を想定していたが、会場使用料やリターン品の制作費用を見積もったところ60万円が必要であることが分かった。
 - もちろんスタッフが個人負担することは不可能な金額である。

クラウドファンディングへの挑戦

- スタッフでクラウドファンディングの申請案を作り、Readyforの担当者へ連絡を取った
 - 2018年3月6日に最初の連絡。
 - 申請書の修正や法務のやり取りなども含めて1ヶ月程度でプロジェクトページの設置が決まった。
- リターン品はSLiiiCでお世話になっているkumoriさんに依頼し、グッズやメイキングビデオなど1000円～18000円の価格帯で設定した。

クラウドファンディングへの挑戦

Readyfor 検索 プロジェクトを探す クラウドファンディングとは はじめる さがす

クラウドファンディングトップ、チャレンジ、学校図書館のパフォーマンスを上げるイベントを開催したい！

学校図書館のパフォーマンスを上げるイベントを開催したい！

東京都 | チャレンジ | まちづくり | 舞台・パフォーマンス

成立!!

学校図書館団体SLiic

| | |
|------|----------|
| 支援総額 | 635,000円 |
| 目標金額 | 600,000円 |
| 支援者数 | 82人 |
| 残り日数 | 終了しました |

購入型 All or Nothing

プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは
2018年6月6日(水)23:00 に成立しました。

いいね! 223 シェア ツイートする B!ブックマーク 0

プロジェクト概要 新着情報 24 応援コメント 82 終了報告

クラウドファンディングとは ▶

5月7日(月)開始, 6月6日(水)終了で開始した。

開始当初

- 更新情報を3日に一度のペースで公開。
- 公開と同時にFacebookページと、TwitterのSLiiiCアカウントでシェアを行った。
- コラボレーションの理由や、SWCの紹介記事、劇団フェリーちゃんの紹介記事などを掲載した。

Twitterでコラボ祭りご報告の？にお答えしませう！
編集する 削除する
皆さん、こんばんは。SLiiiCです。残り11日で、34万円ラインまでやって参りました。この間多くの方から、「クラウドファンディングはどんな目的で始めたの?」「サマー・ワーク・キャンプ2018では何を行うの?」「演劇とコラボレーションするのはなぜ?」など色々な質問を頂き...

[続きを見る](#)

2018年05月20日
1クリックで参加OK! クラウドファンディング シェア祭り
5月29日(火) 21:00~23:00
リターン品追加のお知らせと、リターン品変更の方法について
編集する 削除する
SLiiiCスタッフの今井です。先週予告しましたリターン品追加について、本日12時に追加を行いました。1つは劇団フェリーちゃんの主宰のなになえさんに無料体験時間に加えて、1レッスンの60分間ボイストレーニングを受けられるチケットです。もう1つはSLiiiCスタッフの今井を...

[続きを見る](#)

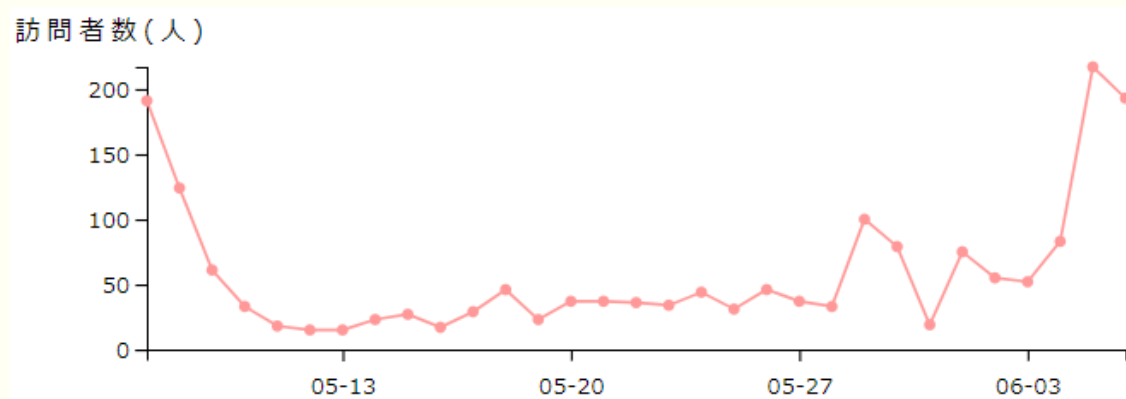
2018年05月22日
1クリックで参加OK! シェア祭り開催! 5月29日(火)21:00~23:00
編集する 削除する
こんばんは。SLiiiCスタッフの今井福司です。2018年5月29日(火)の21:00~23:00までの2時間、「Facebookシェア祭り」を開催します!
<https://www.facebook.com/events/2591693184389525/> 本日時点...

[続きを見る](#)

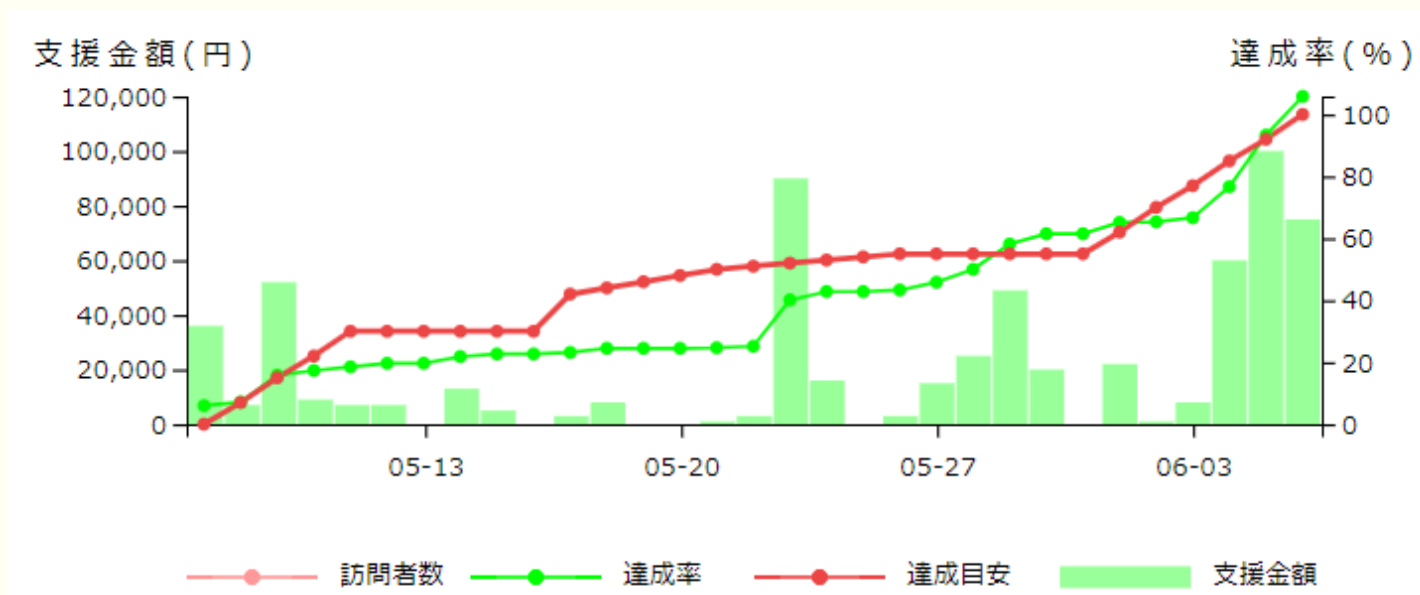
2018年05月20日
16日
編集する 削除する
SLiiiCスタッフの今井です。早速ですが、今回コラボレーションしている劇団フェリーちゃんより、SWC内で上演する小作品について、公演情報を頂戴いたしました。下記に掲載いたしますので、是非ご覧ください。学校図書館を演劇というメディアを通じてより身近に感じてもらう取り組み、本ク...

開始当初

- 開始当初のペース
 - 開始初日で10%，最初の5日間で40%の達成率が目安
 - 初日で10%は到達したが，訪問者数が最初の3日間以降伸び悩んでしまった。新着記事を公開しても訪問者数が伸びない状況になった。



開始当初



5月14日(月)から5月21日(月)の期間は支援が伸びず、達成目安と離れていくのがとても辛かった。

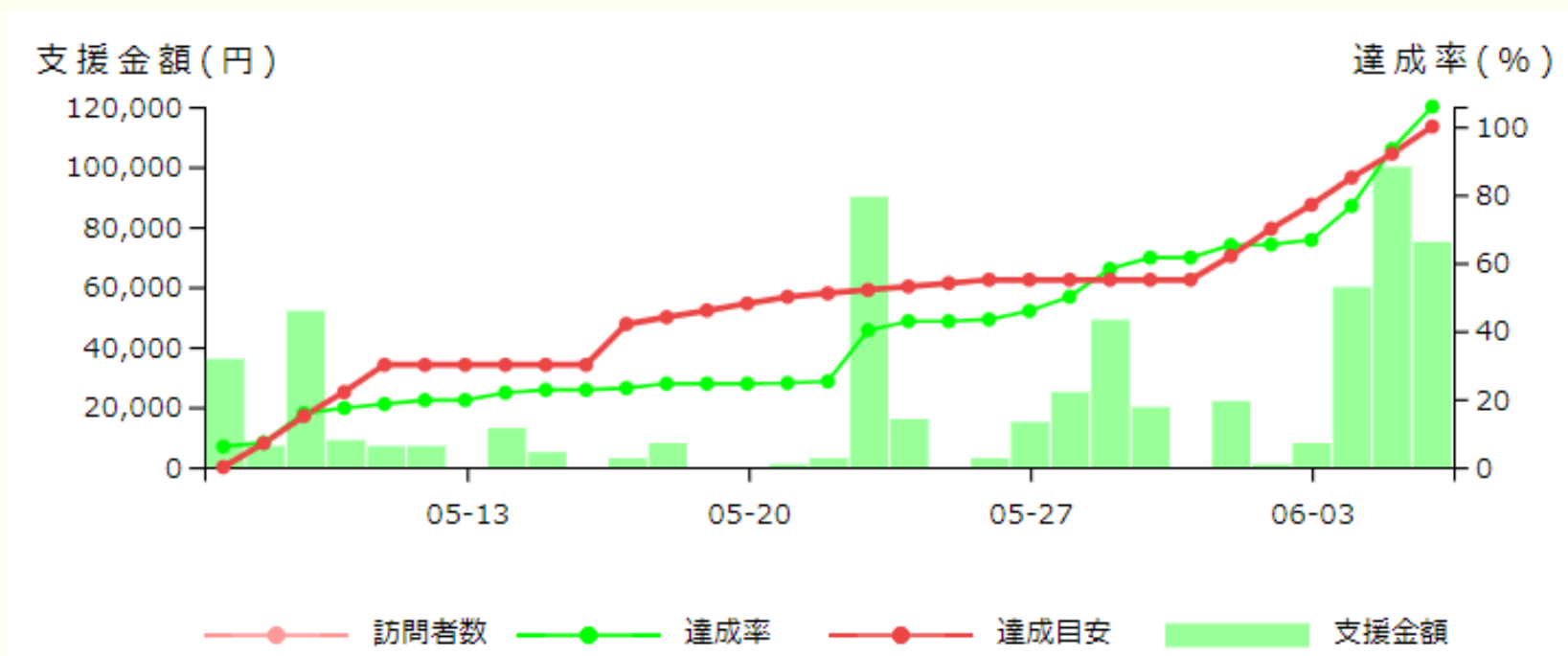
見直しのきっかけ

- スタッフ内から「そもそも今回のクラウドファンディングで何をしようとしているのかが伝わっていないのでは？」との指摘があった。
 - 5月27日(日)にSLiic公式ウェブサイトにてQ & Aを公開。
http://www.sliic.org/2018/05/27/sliic_qa/
- キュレーターから、盛り上げるための活動をとのアドバイスがあった。
 - 5月29日(火)にFacebookシェア祭りを行うことになった。
- 劇団フェリーちゃんの主宰、なにわえわみさんから、意気込みを語って発信しても良いとの申し出
 - 6月1日(金)に緊急インタビュー収録、YouTubeでの発信を行った。

でも…

- 5月27日(日)のイベント前のミーティングで
 - 達成できなかった場合のBプランについて本気で検討した。
 - 会場費の補助をいくらまで減らせるかなどの深刻な議論もした。
 - そもそもイベントの前にこういうミーティングをしてはマズイのではとの指摘もあった。
- イベントでもSWCクラウドファンディングのフライヤーを配布し支援を呼びかけたが、増えないのではと弱気になっていた。
 - でも終了後に参加頂いた方からご支援頂けた。

最後の追い上げ



残り5日間で驚異のペース（全体の40%）の伸びで最終日に100%を超えることができた。



4. クラウドファンディングの振り返り

SLiicサマー・ワーク・キャンプ2018実施



2018/10/31

第20回図書館総合展フォーラム「クラウドファンディングによる図書館の可能性」

26

SLiiiCサマー・ワーク・キャンプ2018実施



2018/10/31

第20回図書館総合展フォーラム「クラウドファンディングによる図書館の可能性」

27

SLiicサマー・ワーク・キャンプ2018実施

- 考え方は色々違うけれど、届けたい思いは一緒だと感じました。
- 元気をもらえたステージをありがとうございました！
- 学校図書館を伝える財産になると思います。
- とても楽しい時間でした。笑えて、最後はなぜか涙が出てきて胸が一杯になっていました。
- 学校司書は様々な苦悩があるが、本と人をつなぎ人と人をつなぐ役割があると伝わってきました。

振り返り

- ご支援頂いた皆さま，そして応援して下さった皆さま，関心を寄せて下さった皆さまに，この場を借りて深く御礼申し上げます。皆さまのご支援があったからこそ達成できました。
- 劇団フェリーちゃんにも深く深く御礼申し上げます。
- そして，今回のクラウドファンディングのプラットフォームをご提供頂いたReadyforの皆さまにも感謝申し上げます。

振り返り（反省編）

- 2回目の実施と言うことで、プロジェクトを始めるに当たっての盛り上げや説明をきちんとできていなかったのでは。
- 開始当初、なぜ支援が必要なのかが見えにくかったのでは。
- TwitterやFacebookの発信が、SLiiiCを応援してくれているコアな方には届いたが、それ以外の方には届いていない状況があったのではないか。

振り返り（留意点編）

- 実施に当たって、今井は勤務先に兼業届を提出した（自分の収入にはならないが念のため）。
- プロジェクト終了近辺で、スタッフから、1人1人の方へ個別にお願いをしていたのが効いたとの振り返りもあった。PR方法については、試せる方法を全て試せる方が良い。
- 今回は実施できなかったが、Webメディアなど一緒に盛り上げてくれる媒体があるともっとスムーズに話を進められたかも知れない。




5. おわりに

学校図書館業界への知見として

- クラウドファンディングは資金獲得の手段だがPR手段でもある。
 - 実際、SWC2018自体の参加申し込みはとても好調だった。
- 学校図書館自体は、公的な予算以外を投入しないことが前提の制度になっている。
 - クラウドファンディングを使って、学校図書館そのものを活性化することは難しい。
 - ただ、支援団体がクラウドファンディングを使って資金を獲得して、寄附の形で充実させることはできるかも知れない。

これから挑もうとする方へ

- 何のために資金を獲得するのかをはっきりさせる。
- 支援してくれる方がどんな方かをしっかりと見据える（リターン品の内容）。
- 開始後にどのようなタイミングで盛り上げたり、PRを行うか（イベントが実施できると良い）。
- 達成できなかった場合のプランBを考えているか。



ご清聴頂きまして，誠にありがとうございました。